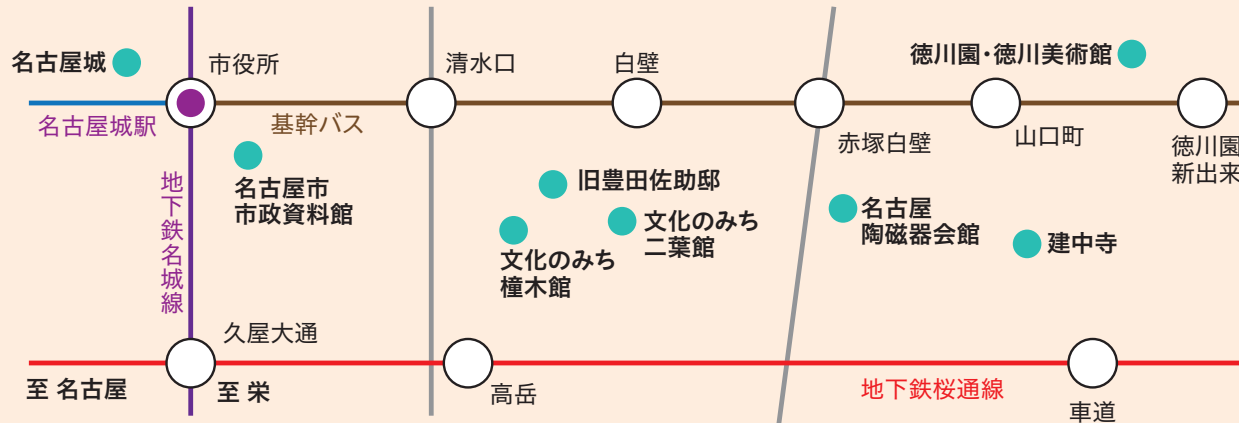


文化のみち

名古屋城から徳川園に至るエリアには江戸から明治、大正へと続く名古屋の近代化の歩みを伝える貴重な歴史遺産が残されており、『文化のみち』と呼ばれています



徳川園

庭園は有料

江戸時代には尾張藩2代藩主徳川光友公の隠居所や三家老の下屋敷があり、徳川美術館・名古屋市蓬左文庫が隣接。

開園時間 9:30 ~ 17:30(入園17:00まで)
休園日 月曜(休日のときは翌平日)、年末年始(12/29 ~ 1/1)
問合 TEL 052-935-8988

文化のみち二葉館

有料

日本の女優第1号として名をはせた川上貞奴が電力王と称された福沢桃介と共に大正時代に居住した和洋折衷の邸宅。郷土ゆかりの文学も紹介。

開園時間 10:00 ~ 17:00
休園日 月曜(休日のときは翌平日)、年末年始(12/29 ~ 1/3)
問合 TEL 052-936-3836

文化のみち榎木館

有料

輸出陶磁器商であった井元為三郎が大正末期から昭和初期にかけて建てた邸宅。洋館、和館、東西2棟からなる蔵、茶室、庭園で構成。

開園時間 10:00 ~ 17:00
休園日 月曜(休日のときは翌平日)、年末年始(12/29 ~ 1/3)
問合 TEL 052-939-2850

名古屋城

有料

慶長15(1610)年、徳川家康公が尾張藩初代藩主となる9男の義直公の居城として築城を開始。

開園時間 9:00 ~ 16:30(閉門17:00)
※本丸御殿及び西の丸御蔵城宝館への入場は16:00まで
休園日 12月29日 ~ 31日、1月1日※催事により変更あり
問合 TEL 052-231-1700

名古屋陶磁器会館

無料

昭和7(1932)年、名古屋陶磁器貿易商工同業組合事務所として建築された。タイル壁、半円窓などが特徴的なドイツ表現主義を彷彿とさせる建築。

開園時間 10:00 ~ 17:00(入館16:30まで)
休園日 土曜、日曜、休日、年末年始(12/29 ~ 1/4)
問合 TEL 052-935-7841

旧豊田佐助邸

無料

兄の豊田佐吉(発明家・実業家)を支えた実業家、豊田佐助の邸宅。大正12(1923)年建設の和館と、それ以前に建設の洋館で構成。

開園時間 10:00 ~ 15:30
休園日 月曜(休日のときは翌平日)、年末年始(12/29 ~ 1/3)
問合 TEL 052-678-2220(公財)名古屋まちづくり公社

名古屋市市政資料館

無料

大正11(1922)年創建の旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎で、ネオ・バロック様式を基調とした現存する最古の控訴院建築。

開園時間 9:00 ~ 17:00
休園日 月曜(休日のときは翌平日)、第3木曜(休日のときは第4木曜)、年末年始(12/29 ~ 1/3)
問合 TEL 052-953-0051

「文化のみち」リーフレット

ここに紹介した施設以外にもたくさんの素敵な建物があります。ご覧ください。

<https://www.city.nagoya.jp/kankobunkakoryu/page/0000011525.html>



NPO法人東区文化のみち
ガイドボランティアの会

文化のみちの施設での定時ガイドや予約ガイドを行い、「文化のみち」の魅力を紹介しています。

<https://higashibgv.com/>

建中寺は、慶安3(1650)年に逝去した尾張藩初代藩主徳川義直公(徳川家康公の9男)の菩提を弔うため、慶安4(1651)年に2代藩主光友公により建立された浄土宗の寺です。以後、尾張藩主は建中寺に葬られ、位牌も御霊屋に納められており、毎日、御回向が行われています。現在も約1万坪の敷地を誇る広い境内ですが、創建当時は5倍の約5万坪の広さがありました。

天明5(1785)年の大火により、本堂、鐘楼などが焼失しましたが、天明7(1787)年に創建当時のかたちにより再建されました。

江戸時代には無本寺(別格本山)として塔頭寺院と末寺がありましたが、大政奉還・明治維新により、尾張藩は廃藩置県により愛知県の一部となり、建中寺は明治5(1872)年に知恩院の末寺となりました。

建中寺の多くの建物が、愛知県指定文化財、名古屋市指定文化財、国登録文化財などの指定を受けています。

建中寺

尾張徳川家菩提寺 徳興山



制作：名古屋市長区役所、名古屋葵ロータリークラブ
協力：NPO 法人東区文化のみちガイドボランティアの会 令和6年9月

